

2022年12月23日号
VOL.157

INDEX

- ◆ 代表社員税理士 南谷より 年末のご挨拶
- ◆ 税理士 4名が振り返る 今年一番〇〇だったこと
- ◆ 確定申告 資料のご準備をお願いします
- ◆ 新春セミナーのお知らせ
- ◆ あおば 年末年始の営業について



宇陀市にて(12/23朝) 中川撮影

2022年を振り返って 南谷より年末のご挨拶

関与先並びに関係者の皆様には本年も本当にお世話になりました。ありがとうございました。

本稿を寄稿しているのが12月22日の夜10時を過ぎた時刻です。22日といえば「冬至」です。一年で最も日照時間の短い日ですが、残念ながら本年は太陽を見ることなく終わってしまいました。東京出張を終え帰宅後、カボチャの煮物を食べ、ゆず湯に入り、締め切りをどうに過ぎて会報発行の責任者である広報室長の高橋君の「お前そんなのんびりしてどうする！」との呆れた顔をどう解きほぐすか考えながら原稿を進めております。

ところで本年はまさに激動の一年でした。2月24日にロシアがウクライナに侵略を始め、いまだ終結は見えず1年を超える状況となっています。宗教上の問題等で中東諸国では常に争いはあるものの、明らかな侵略戦争はこれまでに経験したことなく、戦争というものについて島国で多神教の日本人にはなかなか理解ができないものでしたが、今回の出来事は改めて自国の防衛について国民が真剣に考える機会にもなったのではないかと思います。その結果防衛費の大幅増額（実態はどうなるかわかりませんが…）ということになりました。

・・・と、ここまででは良いのですが、その財源について、なんと！「増税」という短絡的発想。将来にこの日本を残そうとする防衛費の負担を「将来世代に負担を残さない」？？？意味不明の理屈で法人税・所得税・たばこ税(なんで？関係ないやん。非常に痛い。)を令和6年以降増税するという悪手を取りました。

まさに行政の単年度主義の欠陥が露呈した結果であります。コロナの情勢も以前の状態を取り戻しつつある中で、10年とか20年の長期スパンで物事を考えられない財務省の凝り固まった姿勢が民間企業の「さあ、これから」という空気に水を差すことになると思われます。

税収は太陽政策が一番だと思います。「5年間税金を安くしますよ。」と言えばその間企業はどんどん利益を出す方向に動きます。一方で税金を上げますと言えば企業は利益を減らそうと考えます。この当たり前のことが判らないんですね。残念なことです。

当然に我々税理士も声を上げていますが、皆様もぜひ後押しをお願いいたします。

そして何より今年の重大事件は「安倍元総理の暗殺」です。私にとっては・・・

7月8日午前中の仕事を終え、うどん店に入り注文をして何気にスマホを見ると「安倍元首相撃たれ重体」という記事、「はあ？」と思いました。今の日本でこんなことが起こる？しかも奈良で。

しかし、奈良県警の発表による容疑者の「統一教会が…」の発言以降、なぜか誰もこのことに触れない。何故でしょう？内閣総理大臣としての在任期間3, 188日という歴代最長の人物の。まして暗殺という重大事件を。警察も何も言わない。マスコミも何も報じない。（報じてもどうせろくなことを書かないだろうけど）本当に不思議で仕方がありません。スピード違反ででも捕まえてくれたら一回聞いてみようと思っているのですが一度も捕まえてくれません。

1月には容疑者の拘束期間も終わり、起訴されることになると思われますが、どうも実行犯ではないので刑はかなり軽いものになりそうな気がします。そして、容疑者を英雄扱いしたり、寄付や嘆願をしている輩もいるようでこれからの日本を憂わずにはいられません。

普通の考え方の日本人が当然だと思える社会になるように政治も行政も取り組んでほしいところです。

長々と私なりの今年の話題を書きましたが、皆様には本当に一年お世話になりました。ありがとうございました。

私も来る令和5年には還暦を迎えます。体も精神的にも何某かの変化が出てくるものと思われます。これまでの集大成としての一年にしたいと考えております。そして新たな始まりの年であるとも思います。社会は生き物です。日々変化をしています。その変化に惑わされないよう、乗り遅れないよう、昼寝をせずに歩み続けてまいります。

来たる年も皆様にとって素晴らしい1年となりますよう心から祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

代表社員税理士 南谷 正仁

あおば
税理士 4 名が 2022 年を
ごく個人的に振り返ります

今年一番〇〇だったこと

今年

手ヤレシジしたこと



したがって「形あるもの」にどこか憧れを抱く部分があります。

そのような深層心理もあり、年初には「生け花」にチャレンジし、せっかくなのでと無謀にも「男花展」にも出展しました。

そして年末には恒例ではありますが、地元小学生や一般の方々を対象に、国産の稻わらを使って自分の手でしめ縄をつくる「しめ縄づくり体験会」を開催しており、今年は動員数が 150 名を超えそうなところまできました。

さまざまな経験を本業に集約し、研鑽を積んでいきたいと思います。
代表社員税理士 松尾 潤



今年最大のビックイベント、サッカーワールドカップは、十分に楽しめました。いちサッカーファン(自称、キャプテン翼オタク)としては、なんとも贅沢な時間でした。日本の試合も月並みですが、大変な勇気をもらいました。私が注目したのは、日本がドイツに勝ち、コスタリカに 0-1 で敗れた後の選手インタビューの言葉です。

「切り替えるしかない！」 -----以下 number 誌より抜粋

『試合後、選手たちからは「切り替えるしかない」という言葉が聞かれた。敗戦のショックを断ち切って気持ちを切り替え、スペイン戦に向かうのは大事なことだ。しかし、ミスはしっかりと受け止めなければならない。イビチャ・オシムさん(元日本代表監督)は常日頃から「ドンマイ」「切り替え」という、いかにも日本的な、責任の所在を曖昧にする言葉を嫌っていたという。曖昧にするから同じミスを何度も繰り返すのだ、と。だから、この失点の過程はチーム内でしっかりと追及し、共有しなければならない。スペイン戦で同じようなミスを犯さないためにも。』

意図していることは、スイッチのオン・オフのような、過去を忘れて前をみよということではない。「切り替える」とは、むしろ過去を“見る”視点を徹底している。

出来なかった原因を徹底的に追及し、深堀りしていくことで、はじめて、前を向くことができるのだというメッセージです。

今年、みなさんにとてどんな1年だったでしょうか？新たな1年に気持ちを切り替えるためにも、2022年をしっかりと見つめ直していきたいものです。

私自身は、今年できなかつたこと、失敗したこと、やり残したことの懺悔ノートとして書き留めています。

2023年は心晴れやかに次の1年に切り替えていきたいものです。

社員税理士 三瀬 義男



今年一番 感じたこと



今年の春からベランダの狭いスペースで家庭菜園を始めました。きゅうり、ピーマン、ゴーヤと色々な種類を植えましたが結果は惨敗。食べることができたのはミニトマトだけでした。その後リベンジで秋からブロッコリーを植えましたがこちらもアオムシに全てやられました。

その間、実家から大きく実った野菜を頂く度になぜうまくできないのか考えさせられたものです。プロ（実家の父）曰く、野菜は土作りが重要で後は少し見てあげるだけで勝手に大きくなるものと言っていました。

私もネットで色々調べてやってはいましたが、やはりこういうモノ作りというものは、ネットにはない代々受け継がれてきた感覚があるのではないかでしょうか。

コロナ禍により益々ネット情報化社会が促進されたように感じます。

だからこそ仕事、プライベートにおいても人の想いや感覚といった数値にできないものを今後も大事にしていきたいと感じる年でした。

税理士 中谷 尊行

11月末から12月にかけて日本全体がサッカーワールドカップに熱狂し、特に予選リーグでの強豪国への勝利は多くの人が感動の渦に巻き込まれたのではないでしょうか。かく言う私もそのひとりですが、個人的にはそれ以上に心を揺さぶられたスポーツの話題がありました。テニス界のレジェンド、ロジャー・フェデラーの引退です。

普段テニスを見ない方もその名前を見聞きしたことがある方は多いのではないでしょうか。温ブルドン8度の優勝や世界ランキング1位連続在位記録237週など数々の伝説を残し24年の現役生活に終止符を打ちました。ここ数年は怪我に悩まされ、引退試合もエキシビションのような試合でありましたが、ラストマッチでは長年のライバルであったナダルとダブルスタンプを組み、テニスファン必見の引退試合となりました。

試合後のセレモニーの中でフェデラーだけでなく多くのライバル選手が彼とともに涙する映像はテレビ越しでも涙なくして見ていられませんでした。

10代の頃から応援し続けてきたスターの引退は非常にさみしい気持ちと、家族・スタッフ・ファン・ライバルみんながフェデラーの引退を惜しむその映像に感動を覚えました。

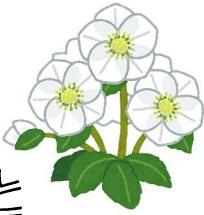
2022年ももう間もなく終わろうとしています。顧問先様をはじめとしまして、皆々様には本年も大変お世話になりました。

新年も何卒宜しく
お願い申し上げます。

社員税理士 山田 佑貴

今年一齣

勉強になつたこと



今年一齣

感動したこと

ご準備
ください！

令和 4年分 確定申告

所得税・贈与税の
申告・納付は

令和5年
3月15日(水)まで

今年もあと数日を残すのみとなりました。

年が明けますと、所得税の確定申告の時期がやってきます。

ご多用のところ大変恐縮ですが、早めのご準備を頂きますよう宜しくお願ひ致します。

<必要となる資料>

- 扶養親族の氏名・生年月日
- 生命保険料・地震保険料控除証明書
- 寄付金控除証明書類（ふるさと納税）
- 医療費のお知らせもしくは医療費の領収書
- 住宅ローン控除申告書
- 住宅借入金残高証明書
- …など



その他

- 個人事業及び不動産収入のある方は 令和4年分の收支に関する資料
- 贈与・譲渡申告の必要な方は担当者にお伝えください

感染対策の為

郵送で

1月末 めどに

ご準備を
お願いします！



今回は2か所！

【令和5年新春あおばセミナーのご案内】

日 時：令和5年2月2日(木) 午後6時00分 開演（午後7時30分終了予定）
税理士法人あおば 3階セミナールーム

令和5年2月3日(金) 午後6時00分 開演（午後7時30分終了予定）
奈良県コンベンションセンター201号室

「令和5年度税制改正大綱」について税制改正の内容と方向性について解説させていただきます。
今回は天理本社・奈良コンベンションセンターの2か所でセミナーを行います。
詳細は同封のリーフレットでご確認をお願いします。

※新型コロナウィルスの感染状況により開催中止となることがあります。予めご了承ください。

年末年始の営業予定

年末は 令和4年12月29日(木)まで業務を行います。

年始は 令和5年1月5日(木)から業務を開始します。

新年もどうぞよろしくお願ひいたします。



税理士法人 あおば 発行責任者 南谷正仁

本 社 〒632-0071 天理市田井庄町528

TEL 0743-63-2361 FAX 0743-63-6223

奈良セターカイス 〒630-8115 奈良市大宮町7丁目1-33 奈良セタービルデイツク 6階

TEL 0742-36-0020 FAX 0742-36-0021

大阪事務所 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-1-1 立売堀1番館4階

TEL 06-6541-6790 FAX 06-6541-6789

URL <http://www.aoba-atm.com> E-mail info@aoba-atm.com

